

# 横浜市教育振興基本計画に基づく26年度の主要事業

## 目標1 「知」「徳」「体」「公」開「示」す「横浜の子ども」を育みます

### 重点施策1 横浜らしい教育の推進

- 横浜型小中一貫教育の推進 (7,512万円)
  - ・142の小中一貫教育推進プロジェクトのうち、20プロジェクトの幹事校に非常勤講師を配置
  - ・小中一貫校設置対象地域を決定するための調査・検討
  - ・西金沢小中学校施設一体化作業【再掲】

### 重点施策2 確かな学力の向上

- 「横浜子ども学力向上プログラム」に基づく学力の向上 (567万円)
  - ・「学力向上アクションプラン」に基づき、基礎的・基本的な知識の習得や学習意欲向上のための取組を「はまっ子学習ドリル・検定システム」等により支援

## 目標2 誇りや使命感に満ちた信頼される教職員を確保・育成します -尊敬される教師-

### 重点施策7 優れた人材の確保

- 教員確保対策事業 (1,699万円)
  - ・採用における取組 (大学説明会等の積極的な広報活動の実施等)
- よこはま教師塾「アイ・カレッジ」(2,180万円)
  - ・即戦力となる教員の確保・養成を図るため、本市教員志望者に対し、必修講座・各校種に志した教科別指導等を実施
- 教職課程のある大学との連携等 (297万円)【再掲】

### 重点施策8 教師力の向上

- 教職員研修事業 (3,118万円)
  - ・教員の海外派遣研修の実施【再掲】等
- 授業改善支援センター(ハヤ・アツジ)の利用促進 (4,852万円) ※「学校教育事務所の運営」の内数
  - ・指導主事等による「授業づくり講座」の充実等
- 教職員健康管理事業 (2億1,336万円)
  - ・健康診断やメンタルヘルズ対策の推進等

## 目標3 学校の組織力を高め、信頼される学校を目指します -信頼される学校-

### 重点施策9 学校の組織力の向上

- 児童支援体制の強化 (5億8,494万円)【再掲】
- スクールサポート事業 (3億8,886万円)【再掲】

### 重点施策10 適確・迅速・きめ細かな学校支援

- 学校教育事務所の運営 (2億2,011万円)
  - ・学校課題解決支援チームによる学校運営の支援等
- 学校運営サポート事業 (707万円)
  - ・学校教育事務所が学校の実情に即した支援策を実施
- よこはま学援隊事業 (1,516万円)
  - ・登下校の見守り等のボランティア活動の支援
- 教育支援隊事業 (436万円)
  - ・学習支援等のボランティア活動の支援

### 重点施策3 豊かな心の育成

- 豊かな心の育成事業 (1,020万円)
  - ・道徳授業力向上推進校 (36校) を設置し、道徳教育の要である「道徳の時間」の効果的な指導のあり方や「豊かな心の育成」推進プログラム」の検証等を発信
- 保健室支援事業 (4,565万円)
  - ・保健室登校や支援を必要とする児童生徒に対応するため、養護教諭有資格者を配置 (40校、週3回)
- 児童支援体制の強化 (5億8,494万円)【再掲】
- スクールカウンセラー活用事業 (5,792万円)【再掲】
- 学校へのカウンセラー派遣 (5億5,380万円)【再掲】
- 不登校対策事業 (2億1,672万円)【再掲】

### 重点施策4 健やかな体の育成

- 健康・体力づくり推進事業 (115万円)
  - ・「子どもの体力向上プログラム」に基づき、全小中学校が「体育・健康プラン」を策定し、学校の特色を生かした「体力向上1校1実践運動」を実施
  - ・「体力向上推進校」の設置 (54校) 等
- 市立学校食育推進事業 (1,655万円)
  - ・食育シンポジウムの開催、児童生徒・家庭向けの食育だよりの発行等
  - ・中学校における昼食では、栄養バランスのとれたランチの提供に向けた調査等を実施【再掲】

### 重点施策5 特別なニーズに対応した教育の推進

- 特別支援教育の推進 (8億4,417万円)
  - ・スクールバスの運行 (40コース)
  - ・特別支援教育支援員による校内支援等
- 個別支援学級等の教育環境の改善 (7,108万円)
  - ・個別支援学級の設備整備
  - ・通級指導教室の整備
- 日本語指導が必要な児童生徒への支援 (1億301万円)【再掲】
- タワレット端末の活用に関する研究事業 (500万円)【再掲】
- 中学校夜間学級における教育環境の充実 (2,119万円)【再掲】

### 重点施策6 魅力ある高校教育の推進

- 魅力ある高校教育の推進 (7,131万円)
  - ・海外研修旅行実施予定校の増、横浜フェリス学院高校における特別講師の配置等
  - ・スクールカウンセラーの全校派遣【再掲】
- 中高一貫教育校の推進 (885万円)
  - ・南高校・南高校附属中学校における中高一貫教育の推進
  - ・横浜フェリス学院高校の中高一貫教育校化の整備検討【再掲】
- 専門コース充実事業 (1,032万円)
  - ・戸塚高校音楽コース、横浜商業高校スポーツマネジメント科の設置 (4月)
  - ・専門教育充実のための特別講師、嘱託員等の配置
- 横浜市立高校グローバル人材育成事業 (250万円)【再掲】

## 目標4 家庭・地域・学校が連携し、子どもの成長を支えます

### 重点施策11 家庭教育への支援

- 家庭教育支援事業 (638万円)
  - ・「保護者の集いの場」づくりモデル事業の実施
  - ・「家庭教育のヒント」小冊子発行

### 重点施策12 地域と学校との連携

- 学校運営協議会推進事業 (875万円)
  - ・保護者や地域住民が学校運営に参加し、特色ある教育活動を推進 (10校設置) ※26年度までに120校設置予定
- 地域交流室設置推進事業 (1,250万円)
  - ・地域の教育力を生かした学校運営を行うため、学校と地域住民等との連携、交流の場として設置 (25校設置) ※26年度までに351校設置予定
- 学校・地域連携推進事業 (2,565万円)
  - ・学校と地域のパイプ役を担う学校・地域コーディネーターを配置 (20校) ※26年度までに183校設置予定
  - ・学校の教育活動に係わる地域ボランティア活動の支援
  - ・ボランティア活動保険に加入
  - ・土曜日を活用した教育活動の支援

## 目標5 子どもの教育環境を整備するとともに、市民の学習活動を支援します

### 重点施策13 教育環境の整備

- 小中学校整備事業 (44億7,658万円)
  - ・学校の過大規模化等による教室不足の解消、学校統合に伴う整備を実施し、教育環境の向上を図る
- 市立学校の耐震対策 (58億922万円)【再掲】 (内2月補正予算：29億4193万円)
- 特別教室空調設備設置事業 (5億4,504万円)【再掲】

### 重点施策14 市民の学習活動の支援

- 災害から子どもを守る学校防災推進事業 (1億6,984万円)
  - ・児童生徒用の防災備蓄品を配備 (27年度までに完了予定)
  - ・防災用ヘルメット等の配備に着手
- 学校給食調理業務の民間委託の推進 (43億5,935万円)
  - ・26年度 新規8校 (26年度までに160校委託予定)
- 校務システム運用 (1億6,162万円)【再掲】
- 図書館サービス「ひと・まち・くらし」整備事業 (120万円)
  - ・図書館サービスポイント整備の実施計画策定及びサービスポイントの開設準備